

第5回 市民協働推進計画策定懇談会

会 議 次 第

日 時：平成18年8月30日（水）

午前10時30分～正午

場 所：市役所14階14大会議室

1 開 会

2 報告事項

- (1) 第4回市民協働推進計画策定懇談会議事録について・・・資料1

3 議事

- (1) パブリックコメントの結果について・・・資料2
(2) 市民協働推進計画（案）について・・・資料3
(3) 提言書の提出について・・・資料4
(4) 市民協働推進計画のキャッチフレーズについて・・・資料5

4 その他

- (1) 今後のスケジュールについて
①提言書の提出について
⇒9月4日（月） 午後3時45分～4時
②次回の懇談会
⇒11月上旬

5 閉 会

第4回市民協働推進計画策定懇談会（概要）

■ 日 時

平成18年6月20日（火） 午後3時00分～午後5時00分

■ 会 場

宇都宮市中央生涯学習センター 2階 205会議室

■ 出席者

懇談会委員：大竹委員，大矢委員，加藤委員，佐々木委員，島田委員，原沢委員，三宅委員，山中委員，若林委員，渡部委員

事務局：自治振興部長，自治振興部次長，みんなでまちづくり課長，地区行政課長，みんなでまちづくり課長補佐，市民活動係長，地域づくり係長，地区行政推進係長，事務局職員

■ 会議経過

1 開会

2 報告事項

- (1) 宇都宮市地区行政推進計画について
- (2) 第3回市民協働推進計画策定懇談会議事録について
- (3) 市民協働シンポジウムの報告について

3 議事

- (1) 具体的な取組みについて

<委員からの主な意見・質問等(要旨)>

A委員：資料5の成果目標は抽象的な表現が多く，数値化されていないので，ターゲットとして絞りづらいのではないかと。例えば出前講座などは，講座数をいくつ増やすなど目標値を設定したらどうか。

事務局：目標を数値化したほうがチェックしやすいが，職員の資質を高めるなど，量ではなく質で図るものもある。成果目標については，数値を目標に取り入れられるかを含めて，再度検討していきたい。

B委員：地域のまちづくり組織は，単位自治会長などから構成されているので，意識の醸成や人材育成するために，出前講座を単位自治会で実施したらどうか。

C委員：まちづくり組織は各種地域団体で構成されている。各自治会において出前講座を実施するのは大変だと思うが，行政側は実施できるのか。また，人材育成については，各種地域団体の責任において行うべきだと考える。既に自治会では，公園の花植えや清掃など協働のまちづくりに取り組んでいると思う。

事務局：地域まちづくり組織の構成員は，自治会などに限定していない。出前講座については，各部各課において実施されているので，できるだけ多くの市民に

活用していただきたい。また、インターネットなどで出前講座の情報を提供し、多くの方が利用できる環境を作っていきたいと考えている。

A委員：成果目標について、民間では、目標を数値化するのが普通である。数をこなすことではなく、評価する姿勢が重要である。

C委員：このような計画を作ったのだから、職員の異動や引継ぎの際の連絡不足を徹底して改善して欲しい。

D委員：2つの取組みにおける関係課において、全庁全課と入っているのは良いことだと思う。取組みにおける関係課についてだが、学校教育課が「活動場所の確保」に入っているのは良いと思うが、「情報の発信、共有」においても、学校教育課で取り組めないか。また、「情報の共有」に出前講座実施課が入っているが、「情報の交流」に入っていないのは何故か。

事務局：23の取組みの関係課の表記については、この取組みを直接的に行う課を明記しており、二次的な取組みについては、全庁全課で実施する。よって、情報の共有化における取組みにおいても、この取組みを活用し、教育に関する情報を提供や収集を進めていく。また、「情報の共有」における出前講座実施課は、「情報の交流」の関係課の間違いであるので、訂正させていただく。

C委員：「情報化拠点整備」は、地区市民センター、地域コミュニティセンターにOA器機を配備していくとなっているが、地域コミュニティセンターにおいては、人員配置の関係などを考えると難しいと思う。

事務局：地域コミュニティセンターについては、みんなでまちづくり課の職員を派遣、巡回させるなど人的支援での対応を考えていきたい。

E委員：他の部署に対して取組みをお願いするようなイメージがあるが、実効性の高い計画とするために、全庁的な推進体制は考えているのか。また、資料4の「(仮称)市民協働推進計画のこれまでのとりまとめ」の1ページ「この計画の背景と必要性」の部分は、取組み⑧の「市民協働の啓発」の目的における市民協働の必要性と関連しているのか。⑭の「市民の意見を反映できる仕組み」については、大変重要な取り組みと認識しているので、期待したいと思うが、その反面不安もある。「(仮称)市民協働推進計画のこれまでのとりまとめ」の1ページ「計画の背景」における社会変動についても、もっと具体的に少子高齢化や財政難などについて書くべきだと思う。

事務局：全庁的な体制についてだが、市役所の機構は、分野別ごとに分かれており、その総合調整を政策審議室で行い、全体の計画をとりまとめている。市役所のこれからの業務は、各個別計画だけにおいて推進するのではなく、全体を総合調整しながら、進めていかななくてはならないので、みんなでまちづくり課の業務も各分野多岐に渡ることから、総合調整して進めなくてはならないと考えている。そのことを踏まえながら、この計画も進めていきたい。また、背景における記載については、市民協働の背景なのか、この計画の背景なのか、混同している箇所があるので、整理する。社会的背景についても同様に整理する。

(2) 計画の推進にあたって

<委員からの主な意見・質問等(要旨)>

E委員：資料5の⑧の取組みにおいても、第三者評価についてなど同一の表現で記載したほうが良いと思う。

事務局：表現を統一する。

A委員：第三者評価を実施した結果については、次回の協働事業に生かすなどの記載を入れたほうが良いと思う。

事務局：体制の部分では、P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）のAのサイクルが見えてないので、計画の本文の部分で、次年度の取組みに反映できるような内容を記載する。

B委員：協働のカイドブックには、協働事例は盛り込むのか。また、市民へは全戸配布するのか。

事務局：現在、職員向けのガイドブックを作成しており、協働事例についても情報を収集しているので、ガイドブックで紹介したいと考えている。市民向けのガイドブックは、リーフレットとして平成19年度を目途に作成していきたい。また、ホームページや広報紙を活用して市民を対象にした啓発を進めていきたい。

F委員：行政計画においてこの市民協働計画が位置づけられているが、その部分が明確になっていないので、理解が難しい。また、成果目標の内容については、達成が難しいと思うので、努力目標的なものとして、具体的に記載できる部分は記載し、出来ない部分はそのままが良いと思う。また、行政計画は、計画を多方面から検討しているので、資料が多くなりがちであるので、分かり易くして欲しい。市民のほとんどが「市民協働」を知らないなので、その部分を原点として押さえながら、気長に実施して欲しい。

G委員：主役である市民が計画に見えてこない。市民への周知が最も必要であり、⑧の取組みが重要であると考え。市民協働への気持ちを持つというのは、地域に愛着を持つ気持ちがないと難しい。このまちをなんとかしようとか、自治会に参加しようという気持ちがなかなか起きづらい。私ぐらいの年代がまちづくりのためになんとかしようという気持ちが希薄であるので、この年代をいかに巻き込んでいくか、起動力という部分で必要になってくるので、その部分についての記載をお願いしたいと思う。

4 その他

- ・次回会議の日程
- ・パブリックコメントの実施について

市民協働推進計画案に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの概要

(1) 期間

- 平成18年8月8日(火)～平成18年8月25日(金) 18日間

(2) 応募者数等

- 応募者数：4名，12件（内訳：男性 3名，女性 1名）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
0	1	0	1	1	1	0	4

(3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
0	2	2	0	4

2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>計画全体について</p> <p>計画の推進をとおして，計画期間後の本市の状況がどのように変わっているのかなど，イメージできるような図などがあれば良いと思う。</p>	<p>この計画を推進することにより，すべての市民が共にまちづくりについて考え，共に行動することによって，幸せと豊かさ，安らぎを実感できる市民協働のまち『うつのみや』の実現を目指していきます。</p> <p>その実現に向け，市民協働の啓発を進めていく中で，イメージがしやすいよう，図などを活用してまいります。</p>
2	<p>計画全体について</p> <p>各章の記述の関連性が弱いと主張が曖昧に感じる。望ましい姿（基本理念）の実現のために何をするのか（基本方針・基本目標の設定），現状にはどのような課題があり，それらを解決するために具体的にどのような取組みを行うのかなど体系立てて明確になるよう構成を工夫すべきである。</p>	<p>本計画は，「各主体の特性」，「活動の現状と課題」を検証し，「市民協のまちづくりの考え方」に基づき「基本施策の体系」，「具体的な取組み」について検討した内容をまとめ，項目として構成いたしました。本文14ページの「基本施策の体系」において，市民協働推進指針の基本方針に基づき，5つの基本方針と基本目標，基本施策，23の具体的な取組みについて体系化し，その関連について示しております。</p>

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
3	<p>計画全体について</p> <p>本文2ページの計画策定の背景と必要性において、「最も身近な行政主体である自治体が、市民生活や地域の実情に応じた行政運営を行うことが求められる」との記述があるが、当然のことであり、時代の変化に対応するのであれば、「よりきめ細やかに」などの表現が必要だと思う。</p>	<p>時代の変化に対応していくためには、自治体もこれまで以上に市民生活や地域の実情などに的確に対応していくことが求められることから、表現を修正いたします。</p>
4	<p>市民協働の普及啓発について</p> <p>市民がまちづくり活動に参加、参画しやすいよう、この計画をわかりやすく、やさしく伝えることが重要なポイントであると思う。</p>	<p>市民の皆さんがひと目見てわかるようリーフレットの配布や出前講座などにおいて、市民協働の普及啓発などに努めてまいります。</p>
5	<p>計画の策定過程について</p> <p>どのような方法で市民の意見を計画に反映させたのかを明確にするため、策定過程についてもまとめて記述したらどうか。</p>	<p>本計画は、市民により構成される懇談会のほか、NPOや地域団体との意見交換会や市民協働のシンポジウムなどを開催し、多くの市民の意見を伺いながら計画をとりまとめてまいりました。その策定過程やいただいたご意見の概要につきましては、本計画の資料編の中で公表してまいります。</p>
6	<p>計画の推進にあたって</p> <p>この計画は、市民、地域団体、NPO、事業者(企業等)、市等が共有する計画であり、全主体で取り組んでいく内容であると思う。そのため、市民により構成される「みんなでまちづくり会議」に「行政サイドの評価」の他に、「市民サイドの仕組みや取り組みの検討」を機能として加えるのはどうか。</p>	<p>各主体の取り組みの検討などにつきましては、「みんなでまちづくり会議」で取組めるよう検討いたします。</p> <p>また、必要に応じて各主体に対し、アンケート調査やヒアリングなどを行い、取組みにおける進捗状況などについても検証してまいります。</p>
7	<p>市民協働のまちづくりの考え方</p> <p>本文10ページの基本理念でいう「市民」とは、行政や事業所も含む概念だと思うが、この計画における「市民」の定義と混同しないか。</p>	<p>10ページにおける「市民」とは、「市民協働推進指針」において「宇都宮市に住んでいる人や通勤・通学している人、地域団体、NPO、企業など、宇都宮市のまちづくりに関わるすべての人や団体」と定義しているため、本計画における「市民」(まちづくりに関心を持ち、社会的・公共的課題を自ら考え行動できる個人)と定義が異なることから、3ページにおいて説明します。</p>

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
8	<p>具体的な取組みについて</p> <p>②インターネット活用による情報提供において、既存のネットワーク業者が提供している「ブログ」(ウェブ上の日記サイト)などを利用することも考えてはどうか。</p>	<p>インターネットを活用し、まちづくりの考え方や協働事業などの情報を提供していく中で、ブログなどの利用についても検討していきます。</p>
9	<p>具体的な取組みについて</p> <p>③多様な媒体の情報提供の手段として、⑦出前講座の活用も重要であると思う。</p>	<p>それぞれの取組みは、大変関連性が深く、連携して取組むことが効果的であることから、出前講座も有効な情報提供の場として、その活用を図ってまいります。</p>
10	<p>具体的な取組みについて</p> <p>市民活動サポートセンターを拡充すると同時に、既存の建物などを活用して情報の集約拠点を設置して欲しい。</p>	<p>サポートセンターの拡充については、⑩活動拠点の充実の取組みにおいて検討するとともに、NPO・ボランティア情報なども、まちづくり活動拠点において提供できるよう⑩コーディネート機能の充実において取組んでまいります。</p>
11	<p>具体的な取組みについて</p> <p>市民の中には、まちづくりに対して、自分の意見を述べ、参画したいと思っている人もいることから、⑦出前講座において提案書の作り方などを教える講座を開設し、市民のまちづくりに参加する気運につなげてはどうか。</p>	<p>出前講座の充実を図っていく中で、市民参加につながるような双方向型の事業展開など、講座の内容や進め方についても検討していきます。</p>
12	<p>具体的な取組みについて</p> <p>⑩活動拠点の充実において、小学校などの地域開放室の利用方法や貸出手続きの拡大充実を早期に推進してもらいたい。</p>	<p>地域ニーズへの対応や学校施設の有効活用を図るため、地域開放室を増やせるよう検討していく中で、あわせて利用方法などについても検討してまいります。</p>